

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

<p>産業廃棄物処理計画書</p> <p>平成24年6月22日</p> <p>愛知県知事 殿</p> <p>提出者</p> <p>住所 名古屋市東区泉二丁目27番14号</p> <p>氏名 西松建設株式会社 中部支店</p> <p style="text-align: right;">支店長 一色 真人</p> <p>(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)</p> <p>電話番号 052-931-8471</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	西松建設株式会社 中部支店
事業場の所在地	愛知県名古屋市東区泉二丁目27番14号
計画期間	平成24年4月1日 ~ 平成25年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06 総合工事業
② 事業の規模	完工高 99億円
③ 従業員数	85人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>建設工事(解体工事を含む)により生じる産業廃棄物は、許可を受けた収集運搬業者、処分業者に処理を委託する。処分業者により処理(再生)される。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"><p>建設現場 (発生・保管) → 収集運搬業者 (収集・運搬) → 処分業者 (中間、再生、最終)</p><p>(直接契約)</p></div>

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 本社安全環境品質部 西日本支社安全環境品質部 中部支店長 環境管理推進委員会 安全環境課			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（平成23年度）実績】		(別紙参照)
	産業廃棄物の種類	合計	※内訳別紙参照
	排出量	3,722.1 t	
	(これまでに実施した取組) ・新築建築工事の建設廃棄物総排出量の目標値を設定 2013年までに33kg/m ² ・簡易梱包、無梱包を推進する。 ・工場加工、代替型枠材の採用の検討。 ・自ら利用、個別指定制度利用の促進及び発注者への提言による廃棄物の削減。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	合計	※内訳別紙参照
	排出量	3,677.0 t	
	(今後実施する予定の取組) ・今後も現状の取組みを維持する。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・コンクリートがら、アスコンがら、木くず、金属くず、紙くず(段ボール)、廃石膏ボード等、現場の状況に応じ、分別して保管し、再生業者に搬出している。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・今後も現状の取組みを維持する。		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（23年度）実績】別紙の通り		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・特に実施していない。		
②計画	【目標】 別紙の通り		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・杭施工時等で発生する建設汚泥について、入手した工事の状況により可能な場合、自ら利用の検討を行う。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（23年度）実績】別紙の通り		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) ・特に実施していない。			
②計画	【目標】 別紙の通り		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) ・特に実施する予定無し。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（23年度）実績】 別紙の通り		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・特に実施していない。		
②計画	【目標】 別紙の通り		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・特に実施する予定無し。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	合計	※内訳別紙参照
	全処理委託量	3,722.1 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	
	再生利用業者への処理委託量	3,722.1 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	
	(これまでに実施した取組) ・再生利用に取り組んでいる業者に中間処理を委託している。 ・「産業廃棄物委託処理基準」に則り、委託業者を選定し、委託契約前には処理施設を点検し、書面による委託契約を締結している。 ・施工部門の職員を対象に、毎年定期的に産廃に関する教育を実施し、廃棄物処理法の順守等を徹底している。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	合計	※内訳別紙参照
	全処理委託量	3,677.0 t	
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	
	再生利用業者への 処理委託量	3,677.0 t	
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再生利用に取り組んでいる業者に中間処理を委託する。 ・優良認定処理業者への委託を推進する。 ・電子マニフェスト対応業者を優先的に選定する。 ・委託処理業者へは定期的に処理状況を点検する。 ・社内外の多くのステークホルダーの皆様に対して、環境関連情報などを開示するために「西松CSRレポート」を作成し、当社HPに掲載します。(年1回発行) <p>http://www.nishimatsu.co.jp/csr/</p>			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状（単位 t）合計 3,722.1 t

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	ガラス・陶磁器屑	廃プラスチック類
排出量	2,770.7	246.9	58.4	74.4
産業廃棄物の種類	金属くず	建設汚泥	紙くず	木くず
排出量	13.7	105.6	2.4	189.3
産業廃棄物の種類	廃石膏ボード	石綿含有産業廃棄物	廃油等	建設混合廃棄物
排出量	78.6	0.0	0.0	182.1

②計画（単位 t）合計 3,677.0 t

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	ガラス・陶磁器屑	廃プラスチック類
排出量	2,200.0	200.0	50.0	60.0
産業廃棄物の種類	金属くず	建設汚泥	紙くず	木くず
排出量	10.0	800.0	2.0	150.0
産業廃棄物の種類	廃石膏ボード	石綿含有産業廃棄物	廃油等	建設混合廃棄物
排出量	60.0	0.0	0.0	145.0

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状（単位 t）合計 3,722.1 t

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	ガラス・陶磁器屑	廃プラスチック類
排出量	2,770.7	246.9	58.4	74.4
産業廃棄物の種類	金属くず	建設汚泥	紙くず	木くず
排出量	13.7	105.6	2.4	189.3
産業廃棄物の種類	廃石膏ボード	石綿含有産業廃棄物	廃油等	建設混合廃棄物
排出量	78.6	0.0	0.0	182.1

②計画（単位 t）合計 3,677.0 t

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	ガラス・陶磁器屑	廃プラスチック類
排出量	2,200.0	200.0	50.0	60.0
産業廃棄物の種類	金属くず	建設汚泥	紙くず	木くず
排出量	10.0	800.0	2.0	150.0
産業廃棄物の種類	廃石膏ボード	石綿含有産業廃棄物	廃油等	建設混合廃棄物
排出量	60.0	0.0	0.0	145.0